こだま新聞

第65号
平成13年3月

てんごくのおじいちゃん

八郎潟小一年おやなぎちえか

おじいちゃん、げんきですか。ちえかは、まいにち、かけあしをがんばっています。てんごくはどうですか。ごはんはおいしいですか。

なつになるといつも、クロアゲハというちょうちょうがうちにくるんだけど、おかあさんは、あのちょうちょうは、おじいちゃんがしんでから、まいとしくるんだよ。」とおしえてくれたの。そして、だから、あれは、おじいちゃんが、みんなにあいたくてちょうになってきてるんだよ。」といってたよ。7がつ21にちのおじいちゃんのしんだひに、やっぱりきてた。ほんとに、おじいちゃんなの？

ちえかは、たなばたのひに、おじいちゃんがのってくるふねをながしたから、おはなやくだものもいっぱいのせたから、まちがわないでのってね。まってます。

おじいちゃんに、だれにもないしょのはなし、おしえるね。ひみつだよ。がっこうで、えいじゅえんにいったとき、ちえかは、たくさんのおじいさんやおばあさんにあってとてもたのしかった。でも、かえるとき、かなしくてなみだがでちゃったよ。もし、おじいちゃんがいきていたら、どんなおじいちゃんだったのかなぁとか、こどもがだいすきっていってたから、ちえかのこともかわいがってくれてたかなぁとか、そしたらびょうきでもいいし、えいじゅえんにいてもいいから、いきていてほしかったっておもったら、なみだがかってにでちゃったの。でも、このはなしをおかあさんにいうと、おかあさんもないちゃうから、ふたりのひみつだよ。

たくさんのひとに、おじいちゃんはがんばりやで、だれにもやさしくて、まちで一ばんあしのはやいひとだったって、いつもきいてる。だから、ちえかもだいすきなおじいちゃんに、えらいな。よくがんばるな。」って、ほめてもらいたいから、ならいごともべんきょうもいっぱいやるし、かけっこもこれからずっと一ばんになるようにがんばるから、てんごくでみててね。それに、かぞくのみんなのことも、まもっててね。だいすきな、てんごくの、きんやおじいちゃんへ。また、てがみかくね。

ちえかより

県長寿社会振興財団主催の作文コンクール「おじいちゃんおばあちゃんへの手紙」で優秀賞になったおやなぎちえかさんのすてきな作文を紹介しました。

「つくしんぼの家」基金

昨年12月から皆様にお願いしてきた「つくしんぼの家を認可施設にする」基金への募金活動が2月28日をもって修了しました。福祉作業所「つくしんぼの家」の基金集めは今後も続けますが県への認可施設申請のための基金集めとしてはひとまず幕を閉じました。親の会や教職員組合、社会福祉協議会、役場職員など協力者が徐々に現れ援助して下さる人の広がりが大きくなっていくのを実感し関係者一同感激する事が何度かありました。最終集計はもう少しかかりそうですが目標額を大きく超えて集まっています。様々な方から善意の協力をいただきました。

現在、松橋所長ら関係者は毎晩遅くまで残り、認可施設の許可を申請中です。無事、認可施設の許可が下りましたら皆様にご連絡いたします。皆様にお礼を申し上げます。

湖東病院詳読会参加

一月の新年会で湖東病院小玉病院長とお話しする機会を得て湖東病院の詳読会に参加することが出来ました。

今回の詳読会は二つのテーマで会がもたれました。二つ目のテーマ、盲目の患者さんに点眼剤を使用してもらうために院内の薬剤師さんが工夫したという報告は門外漢の私にも理解しやすく、患者さんに使い易い器具を手作りしている様子が感心させられました。自宅で療養されている患者さんにもこのようなお話が伝えられる機会があればもっといいだろうなと感じながらお聞きしてきました。

詳読会の後は医局で地域の開業医と病院の先生達の交流会がありお互いの意見を交換しました。私と脳外科の安田先生、心療内科の佐々木先生は子供の治療で親に説明するとき感じる現代の保護者感」とでもいうものについて花が咲き遅くまでお付き合いしてしまいました。

終了証

次の皆さんに終了証をお渡しすることができました

佐藤　純　さん
渡辺　航平さん
佐藤　栞　さん
伊藤　加奈枝さん
山内　芽衣さん
京極　淳之介さん

今月の行事

三月の行事

4日　公民館みんなの集い
7日　町議会開始
8日　中学校総合学習講座
8日　町づくり懇談会
10日　子育て個別相談会
10日　メビウス公開講演会
13日　中学校卒業式
16日　幼稚園卒業式
16日　未来子育てフォーラム
24日　琴・合同お弾き初め
　　悠々会・糸音会
24日　東北ミュージカルシンポ
27日　湖東病院詳読会

編集印刷　児玉医院歯科　児玉　亮　秋田県南秋田郡八郎潟町一日市115-1　電話875-2092